

初代 波の伊八

没後200年記念

妙法寺 「迦陵頻伽」 「松に孔雀」 特別公開

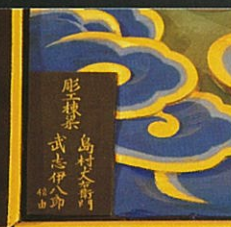


迦陵頻伽

江戸時代の至高の彫工「初代 波の伊八」の没後200年を記念して、東京にある唯一の初代伊八作品を、妙法寺様のご厚意により、特別公開いたします。

祖師堂欄間の「迦陵頻伽」「松に孔雀」は1771年、伊八20歳の作。迦陵頻伽とは、極楽または雪山にいるという想像上の鳥。上半身が天女の姿で、美声で知られ、仏の声の尊さを例えるときに用いられます。1998年の修復時に塗り直され、完成当時の姿が再現された貴重な作品です。

本堂向拝の「五態の龍」「懸魚」も伊八の作です。



松に孔雀

同時開催 初代 波の伊八 写真パネル展

日時 | 2022年
4月3日(日)～15日(金)
10:00～16:00 (入場無料)

場所 | 妙法寺
東京都杉並区堀ノ内3-48-8
03-3313-6241

主催 | 初代波の伊八没後200年
キャンペーン準備室
伊八塾
伊八会
047-477-8629



五態の龍

「初代 波の伊八」武志伊八郎信由は、宝暦2年(1752)、千葉県鴨川市生まれ。神社・寺院の欄間や向拝など多くの彫物を手がけた。躍動する波と龍の表現は名高く、「関東に行ったら波を彫るな」と言われ、葛飾北斎にも影響を与えたとされる。2024年は没後200年にあたり、有志らによる普及のためのキャンペーン活動が始まっている。